

平成26年度 第6回鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 平成27年3月17日(火) 13:30~15:20
- 場 所 鳥取環境大学本部棟3階 大会議室
- 出席者 高橋一委員、三野徹委員、小林槇太郎委員、岡田昭明委員、富岡庄一委員、岡崎誠委員、今井正和委員、田中勝委員、千葉雄二委員、角紀代恵委員、田中仁成委員、常田禮孝委員、中島廣光委員、山本仁志委員
[14名/15名]
- 欠席者 木下法広委員

【議事】

- 1 前回議事要旨の確認
原案のとおり了承。
- 2 審議事項
 - (1) 平成27年度 年度計画について
 - ・追加資料について
予算、収支計画及び資金計画を年度計画し追加。
資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
 - (2) 公立大学法人鳥取環境大学業務方法書の変更について
資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
 - (3) 鳥取環境大学教授会規程の一部改正について
資料に基づき説明があり、以下の通り質疑があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

【質疑】

- ・学校教育法の改正の趣旨はどうか。
→学長の決定権者としての立場と教授会の役割を明確化したものであり(学校教育法93条関係)、教授会の役割は、教育研究に関する事項について審議する機関であるとしたもの。
 - ・改正規程第2条第1項に規定されている内容については、教授会の審議が必要だが、第2項の内容については、学長が付議したのに対し意見を述べるに留まると理解してよいか。
→その通り。
- (4) 鳥取環境大学履修規則の一部改正について
資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
 - (5) 鳥取環境大学名誉教授称号の授与について
資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。
 - (6) 平成28年度入試日程について
資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

3 報告事項

- (1) 近況報告
資料に基づき報告があった。
- (2) 専任教員の採用について
資料に基づき報告があった。
- (3) 専任教員の昇任について
資料に基づき報告があった。

【質疑】

- ・専任教員の中で女性の占める割合はいかがか。(男女共同参画の観点)
→本学の教員55名中、女性は9名である。(女性の教授はおらず)
 - ・専任教員の昇任基準は明示されているか。
→審査基準がある。
- (4) 平成27年度教学体制について
資料に基づき報告があった。
- (5) 平成27年度当初予算について
資料に基づき報告があった。
- (6) 平成27年度入試実施状況
資料に基づき報告があった。
- 【質疑】**
- ・昨年と比べ、かなり志願者が減っているが、その理由をどう考えているか。
学部而定員が少ないところは、隔年現象もあると思うがどうか。
→志願者の減少理由については、判然としないが、予測よりは下げ止まった。歩留まり率も落ち着いている。
 - ・3年次の編入学の見通しはどうか。
→編入学はあまりない。
 - ・昨年は、定員を超えて入学させているが、定員超過について規制や問題はあるか。
→特に注意を受けてはいないが、今後は、募集人員(定員)に沿った調整を図る。
 - ・大学院の定員充足率が低いがどうか。
→充足率は低い、これまで指摘はない。平成28年度開設予定の新研究科では定員を減らす。
学生に対するアンケートでは、進学意欲の高まりが伺えるので様子を見たい。
- (7) 地域イノベーション研究センター特別研究費について
資料に基づき報告があった。
- 【質疑】**
- ・第4条第1号～3号の申請区分の表現が統一されていない。「助成」と「研究費」という文言が混在している。
→第3号について、「助成」に読み替えることができる内容である。
 - ・第3号に規定する“研究費「等」”の内容は何か。
→助成及び研究費についてである。
 - ・兼担する期間は、特別研究費を受けている間だけ、兼担するのか。または一度でも研究費の助成を受けた場合は兼担し続けることとなるのか。
→特別研究費を受けている間、兼担する。
 - ・制度を設けることで、地域連携をより推進していただきたい。
→今後は、より全学的な地域連携研究ができると考えている。
状況を加味しつつ、補正予算をさらに組むことも考慮していく。
- (8) 大学院新研究科の設置計画の概要について
資料に基づき報告があった。
- (9) 公立鳥取環境大学実験研究棟新築工事について
資料に基づき報告があった。

4 その他

平成27年度の教育研究審議会の開催日程(案)について説明があった。